

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-1 秋口の草刈りについて
ご意見	5月と7月に草刈りが行われているが、秋口にも実施してはどうか。
回答	<p>市では、久慈市衛生班連合会と共に、地域の環境美化活動として年4回、早朝1時間清掃として、公共の場所の草刈りやごみ拾いの実施を呼び掛けています。実施日時や実施内容については、市が示した実施基準日を参考に各町内会等で決めていただいております。</p> <p>秋口の10月にも早朝1時間清掃を実施しており、各地域の実情に応じて草刈りができるよう、財政的な部分や関係団体等と意見交換しながら検討してまいります。</p>
担当課	生活環境課 電話：0194-54-8003

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-2 帯状疱疹のワクチン助成について
ご意見	帯状疱疹ワクチン接種の費用は高額であるため、接種費用の助成をしてほしい。
回答	<p>帯状疱疹ワクチン接種についてであります。帯状疱疹の予防接種は、50歳以上の方を対象とした任意の予防接種となっております。また、使用が承認されているワクチンは、水痘ワクチンと帯状疱疹ワクチンの2種類となっております。</p> <p>当市におきましては接種費用の助成は行っていないところですが、現在、国において検討が進められている帯状疱疹予防としてのワクチンの定期接種化の状況を注視しつつ、県内他市等の状況や財政状況等を勘案しながら慎重に検討してまいります。</p>
担当課	保健推進課 電話：0194-61-3315

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-3 就労機会の充実について
ご意見	働く意欲のある障がい者が、働けるような久慈市になってほしい。
回答	<p>障がい者への就労支援として、就労希望者に事業所が職場について説明する機会や障がい者雇用について事業所を対象にした研修会などを行い、障がいがあっても働けるように、雇用の場の創出に努めております。</p> <p>また、障がいのあるなしに関わらず、誰もがその能力と適正に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、市民を対象とした障がいへの理解を深めるため、講演会や講座などを広く行っております。</p> <p>今後とも内容を吟味し、より一層の啓蒙活動を行い、関係機関と連携して適性に応じた雇用の場の情報提供、相談対応に取り組んでまいります。</p>
担当課	社会福祉課 電話：0194-54-2119

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-4 旧中央公民館の利用方法について
ご意見	旧中央公民館、旧久慈市立図書館の建物について、今はどのように利用されているか。 壊して久慈市民体育館駐車場とする考えはあるか。
回答	旧中央公民館、旧久慈市立図書館の建物につきましては、現在、2階及び3階部分を中央市民センターとして活用し、1階部分を公益社団法人久慈市シルバー人材センターと久慈市土地改良区に対し、事務所として貸付けを行っております。 また、今後におきましても、継続して市民センター等として活用することから、解体して久慈市民体育館の駐車場とする予定はございません。
担当課	財政課 電話：0194-52-2113

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-5 歴史資料館の移設について
ご意見	中央市民センター建物1階の旧久慈市立図書館跡に歴史資料館の移設はあるのか
回答	久慈市立図書館がYOMUNOSUに移転する際に、旧図書館のスペースに文化財展示施設を移転することを検討しておりましたが、建物の老朽化が進んでいることや、内閣府及び岩手県が公表した日本海溝・千島海溝沿い巨大地震による津波浸水想定区域に該当し、貴重な文化財を展示するうえで大きな問題となったことから、旧図書館跡への移転については断念したものです。
担当課	文化課 電話：0194-52-2700

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-6 中央市民センターの外壁について
ご意見	外壁の張り替えなり、塗り替えの予定はあるか。
回答	<p>平成28年に、新たな設置目的に合わせて中央公民館から中央市民センターへ施設の名称を改め、地域づくり・生涯学習の拠点として市民の皆様引き続きご活用いただいております。</p> <p>施設の外壁につきましては、平成23年度に改修工事を行っており、現時点で張り替え等の予定はありません。なお、施設は3年ごとに定期検査を行っており、外壁の修繕等につきましては劣化や損傷の状況を確認しながら随時実施してまいります。</p>
担当課	中央市民センター 電話：0194-53-4606

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年6月分）

見出し	0606-7 久慈市の人口減少対策について
ご意見	<p>人口増加に向け、小袖海岸のアクセス改善、管理釣り場の設立、食事処や温泉、高級旅館の設置などの観光施設の整備、放課後の居場所づくり、第2子以降の保育料無償化、生理用品・おむつの支援などの子育て施策に力を入れてはどうか。</p>
回答	<p>ご提言いただきました、人口増加策について、当市でも人口減少・少子化対策は最大の行政課題であると捉えており、人口減少と地域経済縮小の克服、地域課題の解決に向け、「久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、安定した雇用の創出、結婚・出産・子育てへの支援、久慈市への人の流れづくり、災害からの復興と安心・安全なまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>具体的に提言のありました、小袖地区へのアクセス改善については、岩手県が平成22年度～令和2年度にかけて実施しており、今後も県と協議し、更なるアクセス改善に努めてまいります。また、管理釣り場や食事処、温泉や高級旅館の整備については、観光地としての魅力が高まると認識しておりますが、多額の整備資金が必要となることから、民間活力の活用、施設統廃合も含め、様々な可能性を研究してまいります。</p> <p>放課後の居場所づくりについては、放課後児童クラブを市内12カ所に設置しているほか、本年度新たに、県内で2カ所目となる、子ども第三の居場所を開設しております。第2子以降の保育料無償化については、令和5年度より実施しています。生理用品やおむつなどの支援については、子育て世代への負担軽減につながると認識しており、財政状況を勘案しながら、効果的な施策を研究してまいります。</p> <p>人口減少に歯止めをかけるには、地域経済の活性化が不可欠であるため、今後におきましては、洋上風力発電の事業化に向けた取り組み、脱炭素に取り組む企業など新たな業種の企業誘致、若者や女性の起業サポートなどに注力するとともに、子育て環境の整備、交流人口拡大などに取り組む「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち」の実現を目指してまいります。</p>
担当課	政策推進課 電話：0194-52-2115